

子どもが本に出会うということ

読者として、作者として



子どもに本を手渡すために、大人はどんなことができるのでしょうか。子どもたちに開けてもらいたいのは、「生きているって、すてき」の扉。その鍵となる本との出会いについて、中澤晶子さんが「書く立場」「読む立場」、そして「手渡す立場」からお話します。

■ 講師／中澤 晶子さん(子どもの本作家)

■ 日時／平成30年 7月12日(木) 午前10時～正午

■ 場所／5-Daysこども文化科学館 1階アポロホール

5-Daysこども図書館(広島市こども図書館)と併設。駐車場はありません。

対象：学校や地域で読み聞かせ等を行っているボランティア、
関心のある方

定員：当日先着200名(参加無料) ※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

主催：5-Daysこども図書館(広島市こども図書館)、広島市・ほんはともだち
ネットワーク



中澤 晶子さん プロフィール

広島市在住。1991年『ジグソーステーション』(汐文社)で野間児童文芸新人賞受賞。著書に『あしたは晴れた空の下で』(汐文社)、『デルフトブルーを追って』(国土社)、『3+6の夏』(汐文社)、『こぶたものがたり』(岩崎書店)ほか多数。広告ディレクター・コピーライターとして長く活躍。

問い合わせ

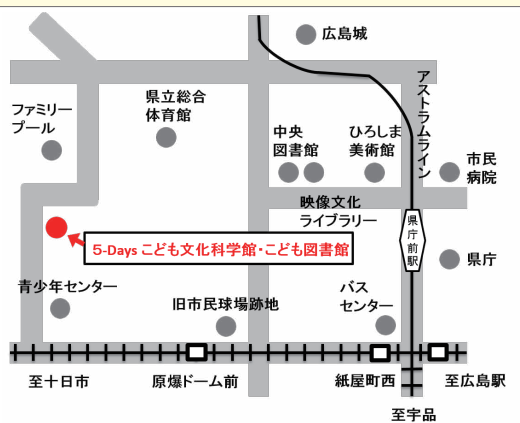
5-Daysこども図書館
(広島市こども図書館)

広島市中区基町5-83

電話 082-221-6755

FAX 082-222-7020

※お子様連れでの入場はご遠慮ください。



6/1～講演会当日までの休館日 毎週月曜日

広島市・ほんはともだちネットワーク(ほんともネット)ってどんな会?

広島市近郊で活動する子どもと本を結ぶボランティア団体・個人をネットワーク化し、子どもたちの読書活動の推進を図るための会です。情報交換の場となる交流会の開催や、技術、意識の向上を図る研修会、講演会の開催など、ボランティア活動をする上での役立つ情報を発信しています。広島市こども図書館HPをご覧ください。